

多久市歴史文化基本構想（案）に関するパブリックコメントの実施結果

1 パブリックコメントの実施状況

- (1) 意見の募集期間 平成30年1月30日（火）～平成30年2月28日（水）
 (2) 意見の応募者数・件数 2名・9件
 (3) 提出方法の内訳 持参・郵送

No.	意見の内容	意見に対する市の考え方
1	4-2「文化財の掘り起しと未指定等文化財の計画的な指定・登録」について 指定することによって資料の散逸を防ぎ後世に残す	文案中のご指摘の部分について、「指定することによって資料の散逸を防ぎ後世に残す」との旨の文を追加し反映致します。
2	指定が必要な資料 ①「志田林三郎一括資料」－志田林太郎氏寄贈分他 ②「高取伊好一括資料」－高取資料の中の第一資料のみ ③「東原庵舎旧蔵漢籍一括」 この資料の目録は、二松学舎大学の高山節也氏によって論文として発表されている 「文教の里，多久」を語る時、東原庵舎でどのような教育がなされていたかが解る、後世に残さねばならない貴重な資料	挙げられました①～③の資料を収蔵する多久市郷土資料館と協議したうえで、対象範囲の精査・準備を進め、指定文化財候補として、しかるべき時期に指定ができるよう進めてまいります。
3	○細川章氏の第一次資料を廟山文庫に後に連ねてほしい 細川氏の業績は多大である	多久市の古文書研究の草分けと言える、故細川章氏が保有されました資料類に関しましては、ご家族から多久市に寄贈されております。その内容等の精査を今後進め、しかるべき時期に、広く市民が同氏の業績と学術的財産に触れ、後世に伝えていけますよう努めてまいります。
4	①多久市民へのYouTube フィルムを活用した「多久の映画会」上映による多久再認識	当課と公益財団孔子の里が協力し、平成27年度に多久聖廟と多久城下町を主題としました「龍が見守る文教の里」動画を制作しており、多久市ホームページ、YouTubeチャンネルなどで公開しております。 今後もこのような機会をつくり、他の文化財を含めてご紹介できるよう進めてまいります。
5	②多久市民のための「多久の面白歴史講座」開講 今回のこの資料を埋もれさせるのは勿体ない	当課の文化財担当では、不定期ながら「石器づくり教室」など歴史講座を行なっております。また、市民いきいき大学や、ゆい工房の歴史講座、町の史跡探訪などにも講師として参加する機会がございます。 今後につきましても、できるかぎりこのような機会に多久の歴史を市民の皆様にお伝えできるよう努めてまいります。
6	③各々の文化財などへの道しるべ、道案内の設置 案内板設置により市民の歴史への興味意識付け	最近では、多久市商工観光課との協働で、「新日本歩く道紀行100選 文化の道」に認定を受けました、多久城下町地域を散策できる「龍孫の里 肥前多久 聖学華ひらき文教の風薫る城下散歩道」コース沿道に、コース案内板・解説板等の設置に取り組みさせて頂きました。今後も市民の皆様への広報、また別のルートの創案など取り組んでまいります。
7	④点在させず、一か所に纏めて「炭鉱関連史跡（炭住）」を整備する 多久の歴史の中で炭鉱産業が重要な産業であったことを後世に残す方法として	炭鉱関連史跡の有効な保存の方法等に関しましては、現在当課でも課題と認識しております。 市制施行の原動ともなった炭鉱産業の隆盛は、多久市において一時代を代表する重要なできごとであり、その遺構を後世により良い形で継承していくことができるよう今後とも検討を進めてまいります。
8	⑤「ふるさと多久学」の文語を多久市民へ浸透させるために、上記②の講座や③の案内板に使用する	大変貴重なご意見ありがとうございます。 多くの市民の皆様は、現在、市内義務教育学校や公

	「ふるさと多久学」良い響きです	民館、資料館などで行なわれている多久の歴史や文化を活かす取り組みを「ふるさと多久学」の総称で広めご周知いただき、またご自身や地域を含めた「多久らしさ」の担い手になっていただけますようあらゆる機会に発信していきたいと考えます。
9	⑥市内の学校で論語の学習が盛んに行われて、折角多久の良さが浸透している若者が、多久で暮らせるように働ける場所づくりが出来ないものか。	当課としましても、この取り組みが地域や多久市の活性につながっていくことを希望しており、交流人口の増加や定住の促進に少しでも寄与できるなら幸いと考えます。